

# 平成26事業年度の事業報告書

(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)

特定非営利活動法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## 1 事業の成果

- 巡回診療事業をチサンバ郡ルアノ地区で月2回 計24回、ムワンタヤ地区で月1回、計12回継続実施した。また、新たにニャンカンガ地区で6月から月1回開始し、計7回実施した。
- また、巡回診療スタッフの一人である準医師ムレタ氏の住むチボンゴ郡16マイル地域で、マラリアにより20人近くの死者が出たため、近接のヘルスセンターの許可を受け、抗マラリア薬、マラリア検査キット、解熱剤などを提供した。
- ムワンタヤ地区で、住民が建設した建物に、セメント・屋根・窓・窓ガラス・グリルドアなどを提供し、患者ファイルを保管する倉庫として、また診察室、会議室として機能できる建物がほぼ完成した。また、ムレタ氏の住むチボンゴ郡16マイル地域でも、住民が自主的に診察室として機能できる建物の建設を開始し、セメント・屋根・窓・窓ガラス・グリルドアなどを提供した。
- コミュニティヘルスワーカー（CHW）研修後期分を5月に実施し、11名のコミュニティヘルスワーカーが誕生した（1名は他の会合に出席していて参加できず、カナカントパから1名が後期分のみ出席した）。
- 3地区では地域住民に対して、マラリア予防と下痢予防（ルアノ地区では井戸の使用法を追加）に関する保健衛生啓発活動を実施した。
- コミュニティヘルスワーカー（CHW）やネイバーフッドヘルスコミッティ（NHC）のメンバーの活動を資金面でも支援するために、彼らの収入創出活動を実施した。
- ルアノ地区で、6月に2基、11月に3基の井戸を建設し、水質検査も問題なく、住民が使用している。
- 三重大、藤田保健衛生大学、滋賀大学、徳島大学、浜松医科大などの医学生、看護学生、薬学部学生、医師が巡回診療活動を見学した。
- 広報活動として、活動内容を伝えるニュースをメールで、計15回送信すると共に適宜ホームページの更新を実施した。
- 賛助会員数が228名となった。

## 2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款記載事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の延人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 延人数
巡回診療事業 ①巡回診療	3地区で巡回診療(合計43回)を実施した	(A) 毎月第1、2、3、4水曜日 (B) ルアノ・ムワンタヤ・ニャンカンガの3地区 (C) 約480人	(D) 約4000人 (E) 5003人

巡回診療事業 ②患者ファイル保 管等のための倉庫 兼建物の建設	住民がレンガを焼き、 レンガを積んだ建物に、 屋根・窓などを提供して 倉庫兼建物がほぼ完成し た	(A) 4月-9月 (B) ムワンタヤ地区 (C) 約20人	(D) 約1000人
保健衛生啓発事業 ①CHW研修	ニャンカンガ地区を含 む4地区の12名に対し CHW研修(後期分)を実施 した	(A) 5月12日-24日 (B) カナカクタバ地区 (C) 8人	(D) 約7000人 (E) 12人
保健衛生啓発事業 ②地域住民啓発	3地区住民に対して、マ ラリア予防と下痢予防 (ルアノ地区のみ井戸の 使用を追加)に関するド ラマや歌を通しての啓発 活動を計3回実施した	(A) 6月13日、11月7 日、11月21日 (B) ルアノ・ムワンタ ヤ・ニャンカンガ3地区 (C) 約45人	(D) 約4000人 (E) 約400人
保健衛生啓発事業 ③収入創出活動	ノート販売(3地区)及び パン販売(ルアノ地区)を 通してのCHWやNHCメン バーの収入創出活動を実 施した	(A) 通年 (B) 上記3地区 (C) 約30人	(D) 約4000人 (E) 約30人
保健衛生啓発事業 ④井戸建設	ルアノ地区で5基の井戸 を建設した	(A) 6月、11月 (B) ルアノ地区 (C) 約50人	(D) 約2000人

(2) その他の事業  
実施しなかった